

重点目標「持続可能社会の担い手であることを自覚する生徒の育成」

具体的な達成目標

※生徒の自己評価（肯定的評価）の割合

○多面的・多角的な見方・考え方を身に付けた生徒

- ・自分の考えを表現し、対話を通して深め合うことができる。・・・ 80%
- ・学年にふさわしい時間の家庭学習の習慣が身に付いている。・・・ 80%

○よりよい集団づくりを目指す生徒

- ・時と場に応じた挨拶や言葉遣いをする。・・・ 95%
- ・校舎や地域への感謝の気持ちを込めて清掃する。・・・ 95%
- ・人には思いやりをもって接し、よい関係を築けるよう心掛けている。・・・ 95%

前年度

・研修主題を「持続可能社会の担い手であることを自覚する生徒の育成」とし、「授業では互いの考えを出し合い、議論することができる」生徒の育成に取り組んだが、達成率72%と目標達成には至らなかった。今年度も導入された一人一台学習端末を自己表現の場や議論する場面に積極的に活用するなど、より一層授業改善に努めていきたい。

・家庭学習の習慣化については、達成率64%と達成目標を大きく下回った。「ノーメディア・チャレンジ・ウィーク」の実施期間は、意識して取り組んでいる生徒が多いが、習慣として十分に定着していないようである。家庭での時間の過ごし方や学習内容の充実も含めて、保護者と連携しながら改善していく必要がある。

・「挨拶」「清掃」「思いやり」の項目は、おおむね目標に達しており、本校の強みでもある。今後は更なる生徒の主体性の高まりを目指していきたい。そしてこれらの活動を通して、生徒に自己有用感や達成感を実感させるとともに、本校が推進する人権教育を核に、温かい人間関係を基盤とするよりよい集団づくりを目指すしたい。

行動Ⅰ

多面的・多角的な見方・考え方を身に付けた生徒

- ①授業や諸活動の中で、自らの考えを表現し、広げて深める対話的な学びの場を設定することで、思考力・判断力・表現力を育てる。
- ②各教科の特質を踏まえ、家庭学習の取組を工夫したり、保護者と協力した取組を行ったりしながら、家庭学習の習慣を身に付けさせ、基礎学力の向上を図る。
- ③授業展開の各場面においてICTを効果的に活用し、生徒の主体的な学びにつなげる。また、学習専用端末を利用した家庭学習を工夫し、家庭学習への意欲を高める。

よりよい集団づくりを目指す生徒

- ①学校生活を通して、挨拶の意義や好ましい人間関係づくりについて考えさせ、自分から場に応じた明るい挨拶や言葉遣いができるようにする。
- ②校舎内だけでなく地域にも目を向けさせ、清掃の意義を理解して、主体的に清掃活動に取り組むことができるようにする。
- ③各教科や行事、生徒会活動においてSDGsの視点を取り入れ、人権教育を核に社会との関わりについて考え、温かい人間関係を築くことができるようにする。

中間評価

7月の学校評価の結果（目標値クリア○、クリア出来ず▲）

- ・自分の考えを表現し、対話を通して深め合うことができる。・・・ 91%○
- ・学年にふさわしい時間の家庭学習の習慣が身に付いている。・・・ 77%▲
- ・時と場に応じた挨拶や言葉遣いをする。・・・ 94%▲
- ・校舎や地域への感謝の気持ちを込めて清掃する。・・・ 96%○
- ・人には思いやりをもって接し、よい関係を築けるよう心掛けている。・・・ 94%▲

※学校・学年だより、「学校HP」で結果の一部を公表する。（学校評議員会で意見聴取）

①～③を継続

家庭学習の評価結果を保護者にたよりで知らせ、課題の共有化と連携・協力を図る。「ノーメディア・チャレンジ・ウィーク」を継続。

①～③を継続

人権尊重の理念に対する理解を深め、温かい人間関係を構築できるよう人権スピーチを全校生徒で実施。

年末評価

2月の学校評価の結果（目標値クリア○、クリア出来ず▲）

- ・自分の考えを表現し、対話を通して深め合うことができる。・・・ 90%○
- ・学年にふさわしい時間の家庭学習の習慣が身に付いている。・・・ 71%▲
- ・時と場に応じた挨拶や言葉遣いをする。・・・ 97%○
- ・校舎や地域への感謝の気持ちを込めて清掃する。・・・ 95%○
- ・人には思いやりをもって接し、よい関係を築けるよう心掛けている。・・・ 95%○

次年度

「学校・学年だより」、「学校HP」で結果の一部を公表する。

・今年度は、自分の考えを表現し、対話を通して深め合うことができるという項目が、目標を大きく達成することができた。今後も教職員が重点項目や研修主題を共通理解し、実現に向けた取組を着実に推進していきたい。

・「挨拶」「清掃」「思いやり」については、人権教育を核に社会との関わりについて考え、温かい人間関係を築くことができる取組を継続していく。

・家庭学習の習慣については71%と目標値を下回ったが、昨年に比べると10%近く伸びている。次年度も各教科の特質を踏まえた家庭学習を工夫したり、授業とのつながりを意識したりし、必要感とやりがいのある家庭学習となるよう取組を推進していきたい。

